

コマツ建機販売

適用範囲		型 式		SC4000X-1	SC4000RX-1	SC5000-1	SC5000R-1
		適用号機		3011～	3011～	3011～	3011～
		質 量 kg		3260	3270	4680	4740
		取付可能機体質量 (単位 t)		30～38	30～38	40～48	40～48
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検 査 基 準 値			
旋回装置	旋回ベアリング	内輪ボルトサイズ	mm	18	18	22	22
		締付トルク	N・m	343～426	343～426	662～828	662～828
			kg・m	35～43.5	35～43.5	67.5～84.5	67.5～84.5
		外輪ボルトサイズ	mm	18	18	22	22
		締付トルク	N・m	343～426	343～426	662～828	662～828
			kg・m	35～43.5	35～43.5	67.5～84.5	67.5～84.5
油圧装置	シリンダー (図 4-13 参照)	開閉シリンダー L					
		伸縮量	mm	30	30	30	30
		測定時間	分	3	3	3	3
圧砕・切断部	カッター (図 4-14 参照)	カッターの隙間 B					
		基準値	mm	1.0	1.0	1.0	1.0
		許容限度	mm	2.0	2.0	2.0	2.0
	カッターエッジ (図 4-4 参照)	カッターエッジ R					
		基準値	mm	0	0	0	0
		許容限度	mm	3.0	3.0	3.0	3.0
	カッター取付ボルト	ボルトサイズ		16	16	16	16
		締付トルク	N・m	245～309	245～309	245～309	245～309
			kg・m	25～31.5	25～31.5	25～31.5	25～31.5
	圧砕ポイント (図 4-15 参照)	圧砕ポイント C					
		基準寸法	mm	0	0	0	0
		許容限度	mm	50	50	50	50
		圧砕ポイント D					
		基準寸法	mm	208	208	289	289
		許容限度	mm	258	258	339	339

コンクリート大割圧砕具

SC5000X-1	SC5000RX-1						
3011～	3011～						
4800	4840						
40～48	40～48						
検 査 基 準 値							
22	22						
662～828	662～828						
67.5～84.5	67.5～84.5						
22	22						
662～828	662～828						
67.5～84.5	67.5～84.5						
30	30						
3	3						
1.0	1.0						
2.0	2.0						
0	0						
3.0	3.0						
16	16						
245～309	245～309						
25～31.5	25～31.5						
0	0						
40	50						
289	289						
339	339						

1. 開閉シリンダー伸縮量の測定

- ①測定具を地面から浮かせた状態で垂直に保持し、アームを全開状態（シリンダー収縮）で行う。
- ②ショベルのエンジンを停止してからホース内の残圧を抜き、aのストップバルブを閉じる。
- ③L部の寸法測定を行い、3分間経過後に再度L部の寸法測定し、その差を伸縮量とする。
- ④ダブルシリンダー型は左右2本のシリンダーを測定すること。

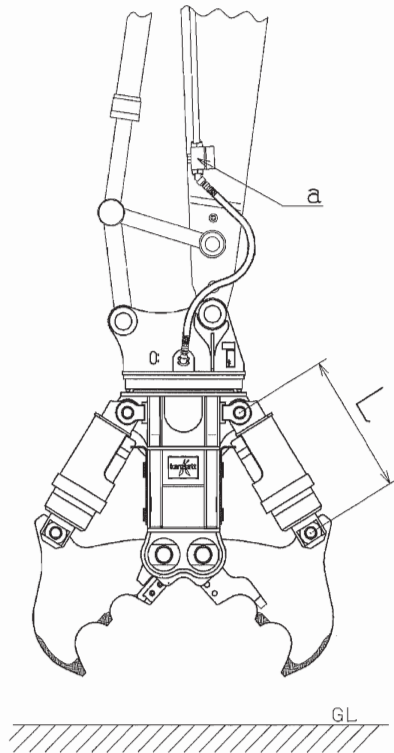


図 4-13 開閉シリンダーの伸縮量測定（ダブルシリンダー型）

2. カッターの隙間測定

- ①本体を水平に置きアーム全閉状態（シリンダー伸長）で測定する。
- ②スキマゲージによりB寸法を測定する。

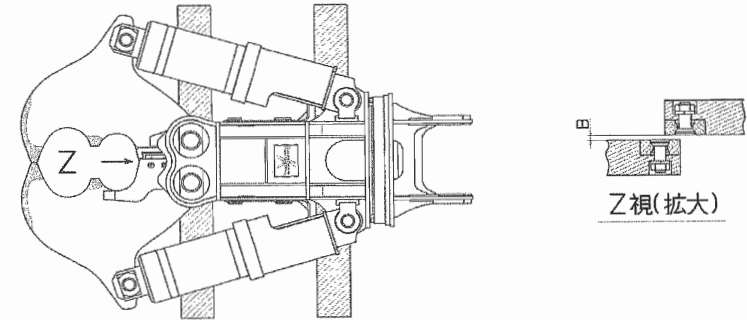


図 4-14 カッターの隙間測定

3. 圧砕ポイントの測定

- ①本体を水平に置きアームを全閉状態（シリンダー伸長）で行う。
- ②C先端ポイント・D中間ポイントのすき間を測定する。

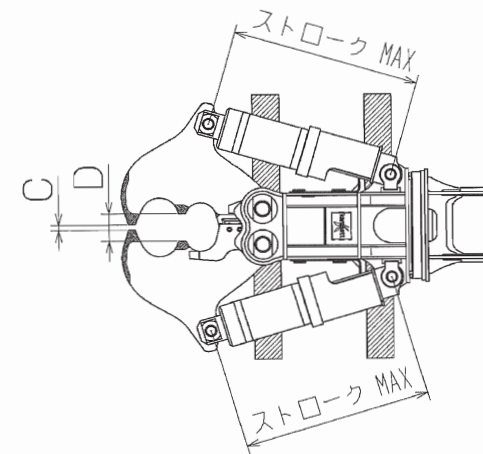


図 4-15 圧砕ポイントの測定